

# あきた労福協

2023年3月1日 NO.150

発行所/秋田県労働福祉協議会  
発行責任者 高橋 暢嘉  
秋田市中通6丁目7-36 フォーラム7ภายใน  
Tel 018-833-1875 ・ Fax 018-833-0506  
ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

## 2023年度 「勤労者・県民に関する福祉政策制度要請」を県に提示



【要請内容】

1. SDGs (持続可能な開発目標) の達成と協同組合の促進・支援
2. 大規模災害の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
3. 格差是正、貧困のない社会に向けたセーフティーネットの強化
4. 暮らし総合支援 (ライフサポート) 事業運営への協力について
5. 消費者政策・教育の充実・強化
6. 安心・信頼できる社会保障の構築

1月19日(木)秋田労福協は、秋田県へ福祉政策制度要請を行った。県側は神部副知事他2名、労福協は才村会長他4名が出席した。今年度の要請ではコロナ禍の長期化の中で、原油・原材料の価格上昇と円安に伴う物価高騰による県民生活への支援を盛り込み、協同組合の促進・支援、大規模災害等への対応、格差是正・貧困の根絶など労福協・構成団体全体で目指す政策課題を求めた。県からの回答は3月末を予定している。



要請書を手渡す才村会長(右)

## 第10回フードドライブ活動



「もったいない」から「ありがとう」へあなたができる**食料支援!**

# FOOD DRIVE

参加しよう「SDGs」みんなで広げる助けあいの輪



あなたのそばに食べることに困っている人がいます?!

「食料品一人1個持ち寄り」キャンペーン!

物価上昇が 圧迫する 庶民の家計?!

食品ロス ⇒ 生活困窮者支援

FOOD DRIVE (フードドライブ) とは、いただきものや買わずにしまったもの、何らかの理由で流通に乗らない食料品を、フードバンクなどを通じて地域の生活困窮者や児童食堂、児童・障がい者施設などに寄付する活動です。職場や地域、いつも交流している身近な方々で食料支援をはじめませんか?

第10回フードドライブ実施期間 2023年2月13日(月)~2月24日(金)

2018年より続けてきたフードドライブ活動も今回で10回目となりました。皆さまのご協力により継続して取り組むことができました。今後ともご協力よろしくお願ひします。

## フードドライブ過去の取り組み結果

	個数	重量 (g)
第1回	563	215,088
第2回	522	208,343
第3回	299	218,153
第4回	371	158,045
第5回	621	340,367
第6回	853	394,387
第7回	732	364,783
第8回	760	234,948
第9回	581	337,660
第10回	現在 集 計 中	

2018年より年2回ペースで実施

# 「暮らしなんでも相談」 社会保険労務士への相談増えてます

## 生活が苦しく障害年金に該当するか

Q 65歳頃に発症し障害等級2級の手帳を持っている。以前市役所の「相談窓口」行って相談した時は「障害者年金に該当しない」と言われた。この頃より、生活が苦しく、障害者年金が該当するか否か社会保険労務士さんに教えて欲しくて電話した。

A 障害者年金には厚生・国民の二つがあり、いずれも三つの要件に該当する必要がある。①障害の原因となった病気やケガの初診日に被保険者であること（初診日要件）、②初診日から1年6ヶ月後に障害等級に該当すること（認定日要件）、③原則、国民年金の被保険者期間2/3以上の保険料納付済みであること（保険料納付要件）、要件を全て満たさなければならない。制度自体がかなり複雑で、個人の基礎データをきちんと確認する必要がある。相談者から聞いた情報に基づいてアドバイスし、確定的なことは相談者の年金情報に基づいて判断する必要があるので、年金事務所か街角年金相談センターに行って相談することを勧めた。

※街角年金相談センター【秋田拠点センターALVE2階（要予約）】

**編集後記** 卒業シーズンに入り、わが家にもこの春小学校を卒業する子がいる。ランドセルが歩いているかの様だったのが、今では背負っているのが不自然な程に成長した。学校生活の後半はコロナの影響により行事の中止・縮小が多かった。その中でも子ども達は日々成長し、楽しみを見つけ過ごしている。最近よく耳にする児童手当の問題や子育て支援・・・子供達の未来が明るく・希望が持てる支援策へと進む事を願うばかりである。(G.N)